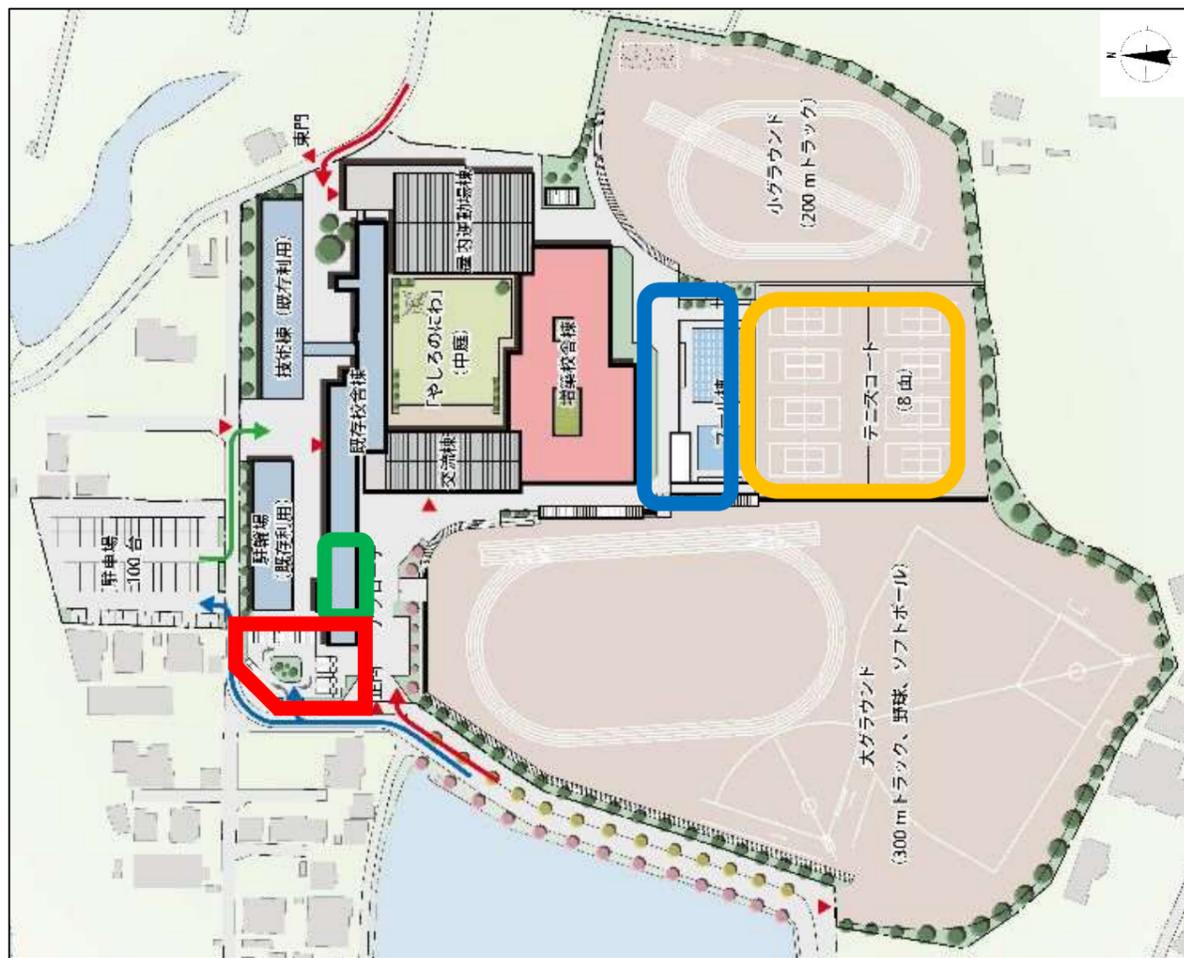


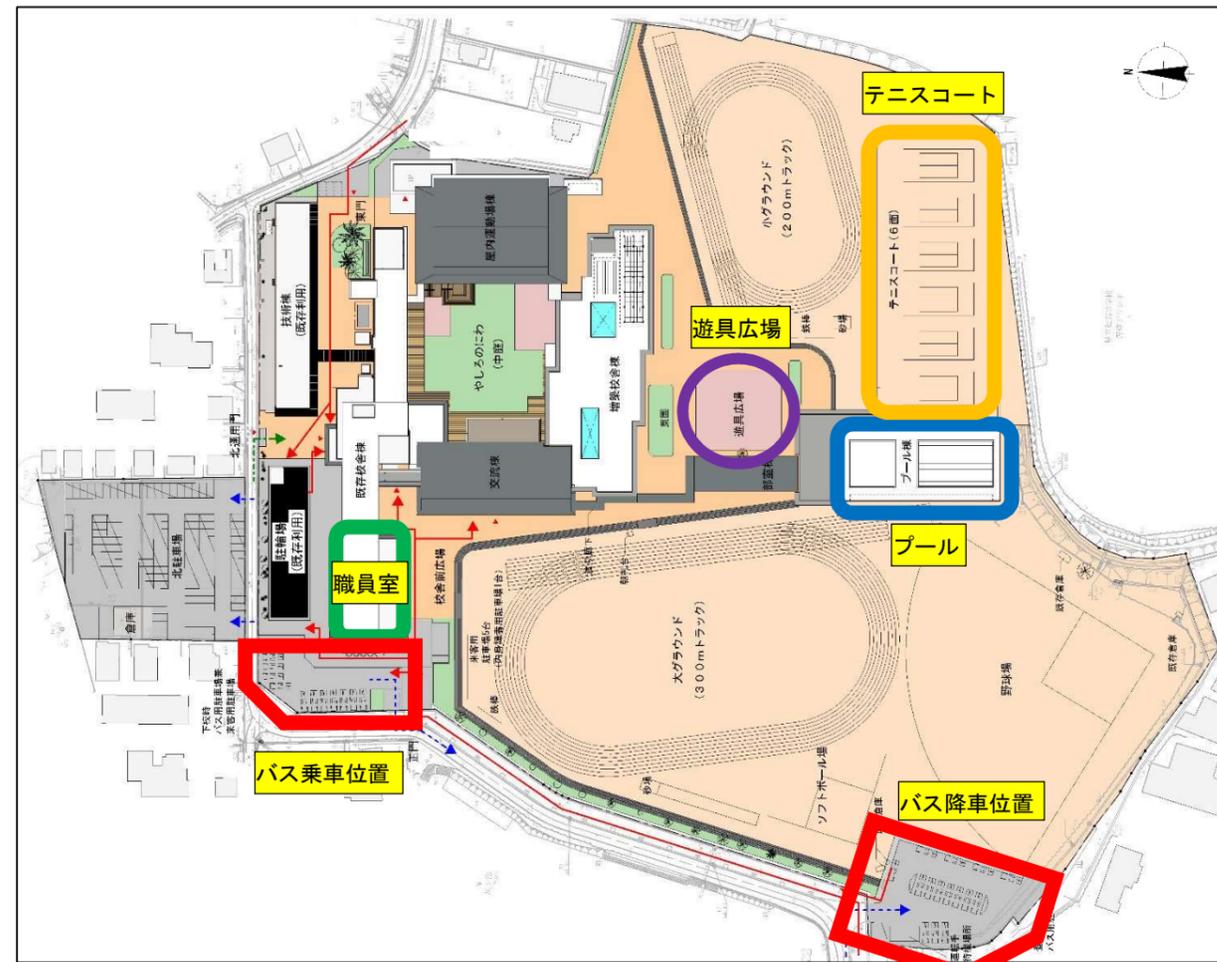
社地域小中一貫校基本設計案について

〔全体施設配置〕

【プロポーザル案】



【基本設計案】

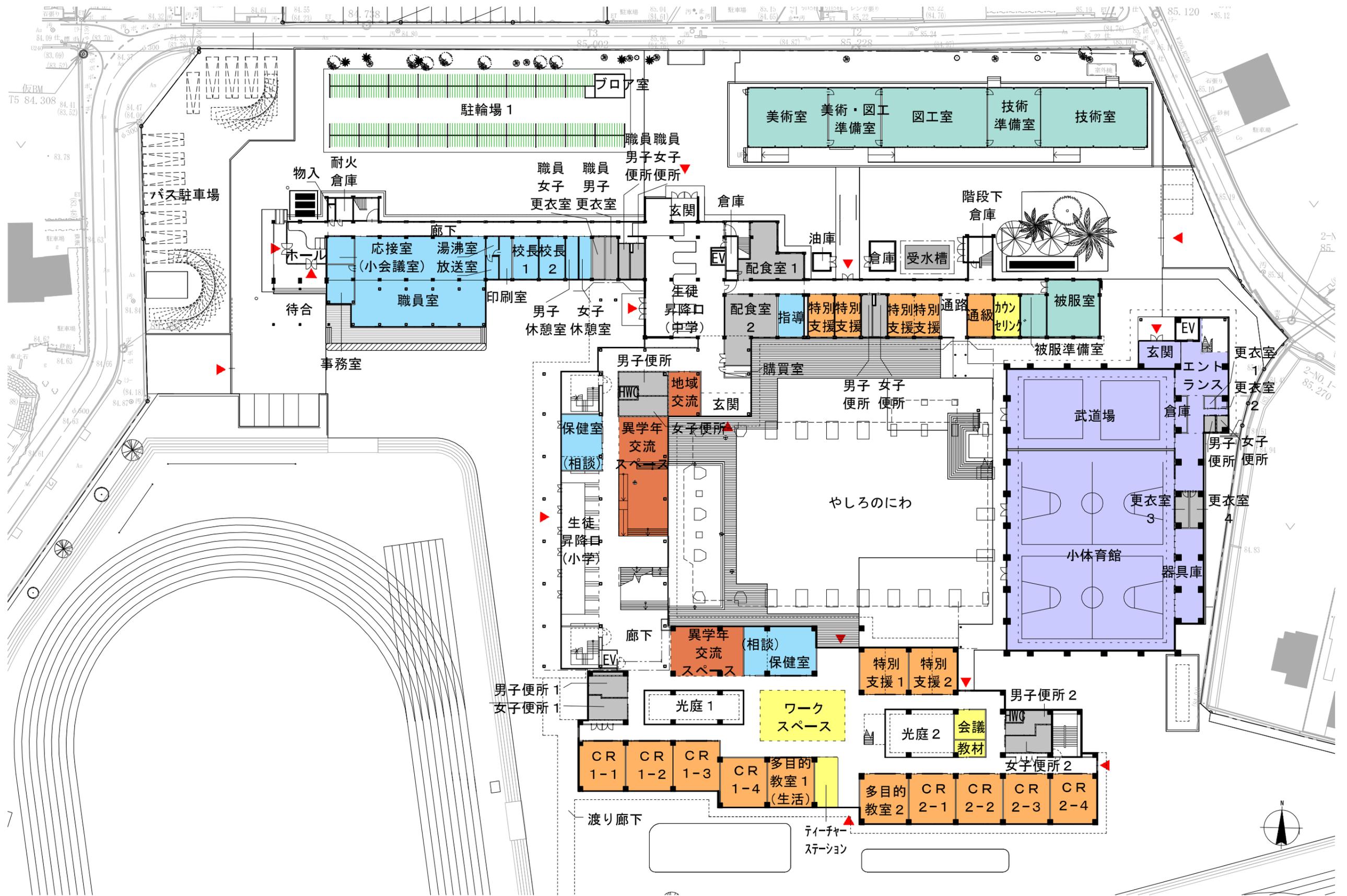


施設名	プロポーザル案	基本設計案	基本設計案となった理由
バスロータリー	1か所設置 〔登下校時〕 正門付近	2か所設置 〔登校時〕 ソフトボール場南側 〔下校時〕 正門付近	<ul style="list-style-type: none"> プロポーザル案では、登校時にバスと歩行者・自転車・自動車の動線が正門付近で重なっており、混雑が予想されるため、バスロータリーの設置位置を検討するよう提案がありました。ソフトボール場南側でバスを降車することで、登校時の混雑を緩和します。なお、バスがロータリーへの進入時に、通学する児童・生徒との動線が重なることについては、交通を誘導します。 正門付近に下校時用の駐車場を設置することで、児童の動線の短縮を図ります。また、児童の乗車前にバスを駐車場へ配車し、すべての児童が乗車後に順次出発することや、駐車場をフェンスで囲みスペースを独立させることで、子どもの安全を確保する計画とします。
プール	増築校舎棟の近接 南側（東西方向）	増築校舎棟から離れた南側（南北方向）	<ul style="list-style-type: none"> プロポーザル案では、増築校舎棟南に接しており、太陽光の反射やプールでの歓声の影響を受けることが予想されるため、プールの設置位置を検討するよう提案がありました。プールを南に移動させることで、遊具広場の場所を確保し、また、校舎とテニスコートの間に工作物（プール棟）を設けないことで、視界の確保ができます。
職員室	旧校舎1階	旧校舎1階（増床）	<ul style="list-style-type: none"> 現在の職員室の場所で増床し、教職員増に対応します。来訪者にとってわかりやすい動線であるとともに、駐輪場付近や既存校舎北側の安全確保につながります。小グラウンドまで、少し距離が感じられますが、増築校舎南側にティーチャーステーションを設けることで、教師の視線を確保し、動線の短縮を図ります。
テニスコート	8面	6面	<ul style="list-style-type: none"> 面数は減りますが、現在の使用状況（体育・部活動）を考慮し、6面での配置計画としています。これにより、遊具広場のスペース確保が可能となります。



- 【凡例】
- 自動車動線 (Blue dashed arrow)
 - 歩行者・自転車動線 (Red solid arrow)
 - 教職員動線 (Green dashed arrow)

※上図は、現在基本設計中のため、令和3年3月16日時点の配置計画図です。

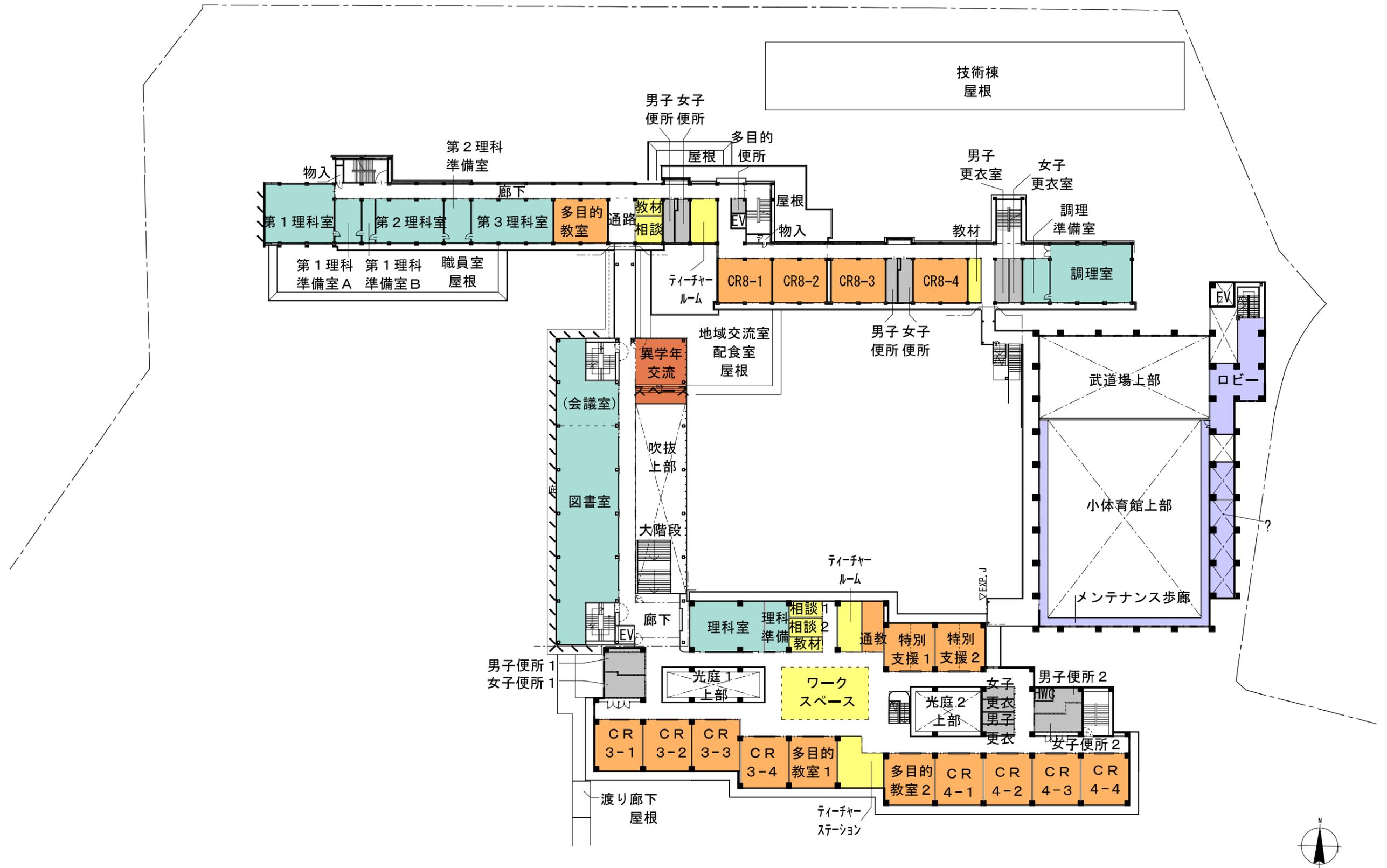


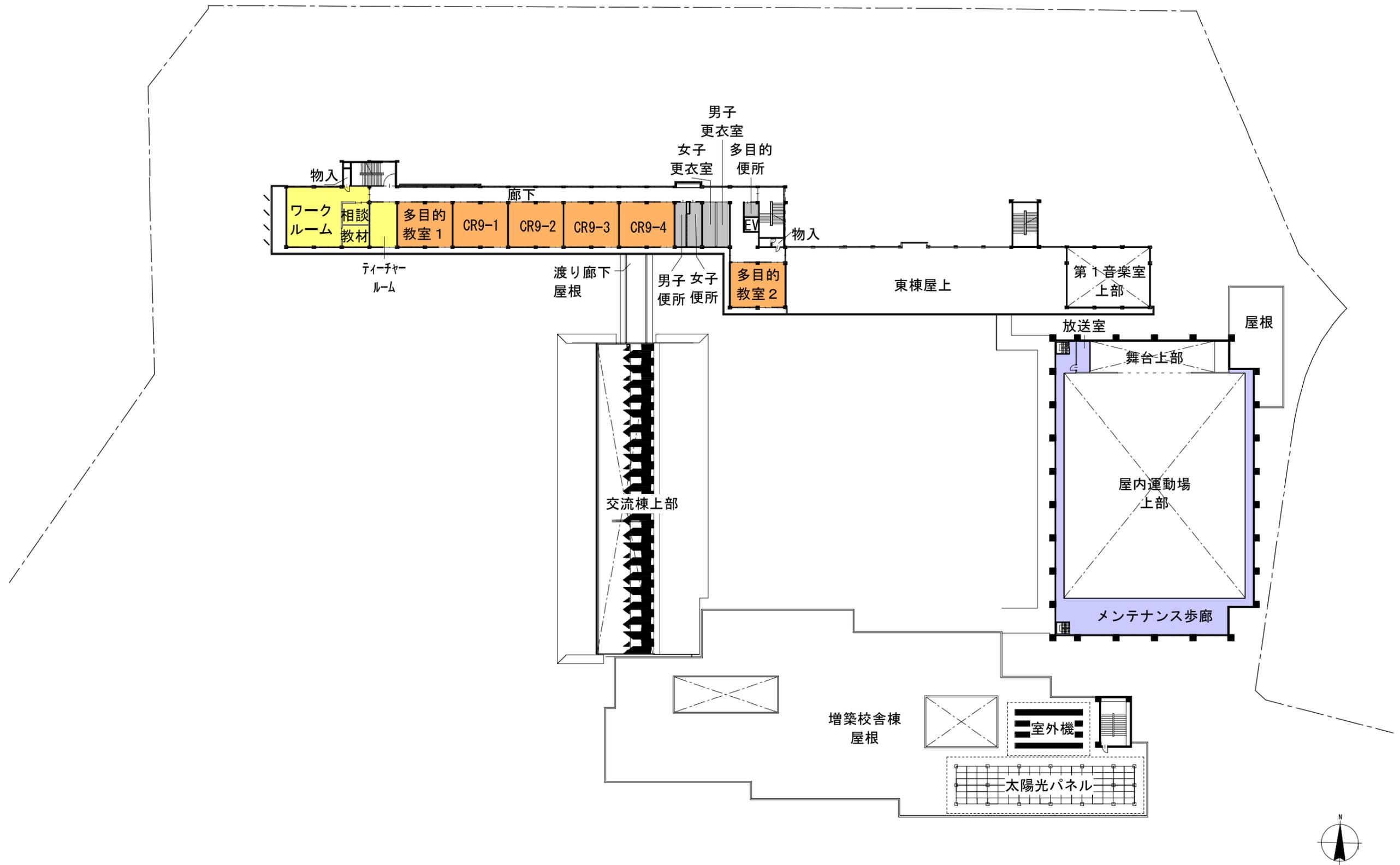
令和2年度加東市社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託 基本設計書

1階平面図

1:600(A3)

※上図は、現在基本設計中のため、令和3年3月16日時点の1階平面図です。





※上図は、現在基本設計中のため、令和3年3月16日時点の4階平面図です。